



今こそ確認！ 交通ルールのポイント

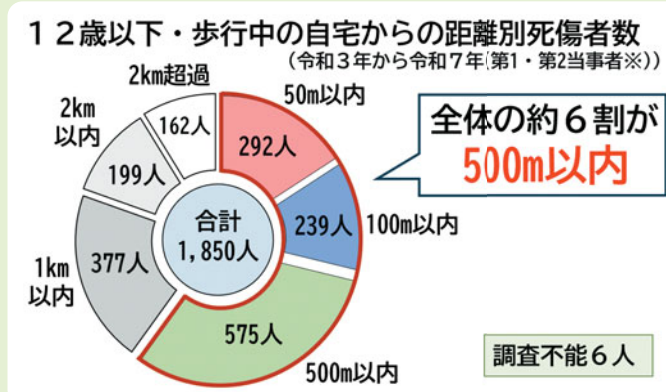
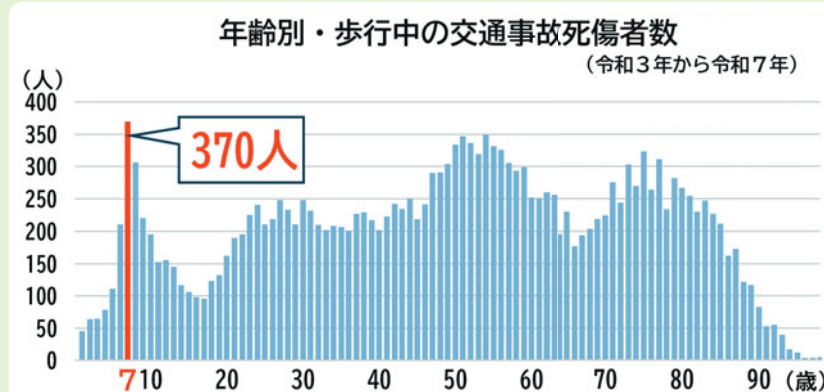
知っていますか？ 魔の7歳

歩行中の死傷者数のうち年齢別では7歳が最多

小学1、2年生にあたる7歳児は、通学や習い事で行動範囲が一気に広がる一方で、交通ルールについては、理解が深まっていない年齢でもあります。

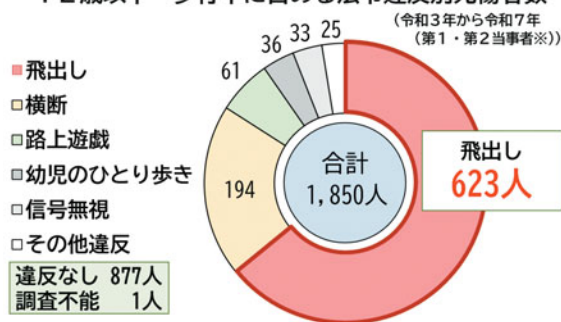
このため、全国的にも事故にあうことが多く、「魔の7歳」とも言われています。

また、発生場所についてみると、**全体の約6割が、自宅から500m以内において発生**していることが分かっています。(本稿のグラフ数値はいずれも県内のものです。)



交通事故の要因としては、「飛出し」がもっとも多い

12歳以下・歩行中に占める法令違反別死傷者数
(令和3年から令和7年(第1・第2当事者※))



子どもの特性を理解し、事故の防止を

子どもは、大人より目線が低く視野も狭いため、近づいてくる車を容易に把握することができないほか、興味があることに気が移りやすいです。



自転車マナーアップキャンペーンを開催しました!



5月19日(火)、神奈川県と神奈川県警察、神奈川県交通安全母の会連合会は、横浜駅東口の新都市プラザにおいて、自転車マナーアップキャンペーンを行いました。

当日は、通行人に啓発グッズを配布し、自転車乗車時のヘルメット着用や、4月から新たに始まった自転車に対する交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)について広報・啓発を行いました。

※事故が発生した際、その交通事故に関与した運転者又は歩行者を、過失の重い順に「第1当事者」「第2当事者」と言います。



ちょっと待って!!

その警察官、ホンモノですか…?

二セ警察サギに注意!

警察官は、こんなことはしません!

- ☑ 電話で捜査対象となっているなどと伝える
- ☑ メッセージアプリで連絡する
- ☑ 警察手帳や逮捕状の画像を送る
- ☑ 個人のスマートフォンに突然ビデオ電話をする

これらがあてはまったら詐欺です!!

子どもや女性が犯罪被害にあわないために

防犯意識を高める6つのアクション

- ☑ おうちの人に行き先を告げる
- ☑ ひとりにならないようにする
- ☑ 人に誘われてもついていけない車には乗らない
- ☑ こわいと思ったら、大声を出したり防犯ブザーを使う
- ☑ イヤホンや携帯電話を使いながら歩かない
- ☑ 後ろからついてくる人や急に近づいてくる人がいないか気を配る



かながわ犯罪被害者サポートステーション

～ご相談に応じ、支援を行っています～

ある日突然、犯罪や事故に巻き込まれてしまうことは、誰にでも起こります。神奈川県、神奈川県警察、公益社団法人神奈川被害者支援センターの3者で連携を取り、殺人、傷害、性犯罪など、犯罪による被害を受け、苦しんでいる被害者やそのご家族の方からのご相談を受け、必要な助言や情報提供等を行うほか、様々な支援を行っています。

お話を伺いたうえで、どうしたらよいか、一緒に考えます。

●問合せ：くらし安全交通課 横浜駐在事務所 ☎ 045-312-1121 (内線3431)

ひとりで悩まず、まずはご相談ください

相談電話 ☎ 045-311-4727

月～土曜 9時～17時
(祝休日、年末年始は除く)

※支援ごとに条件がありますので、まずは、サポートステーションにご相談ください。

